

- SHUZO AZUCHI GULLIVER 作品を語る
- バンカースクール2022年1-3月受講生募集
- 2021年11月～2022年3月の主なイベント
- 食と現代美術 vol.8 アートと食と街を開催!
- 続・朝鮮通信使 韓国 AIR 報告展開催

# BankART NEWS Vol. 23

発行: BankART1929  
2021年11月11日発行

## SHUZO AZUCHI GULLIVER 作品を語る

BankART1929では、シュウゾウ・アヅチ・ガリバーの展覧会、「消息の将来(仮題)」を、2022年10月に開催します。展覧会で核となる約12点の作品を作家が語るとともに各回ゲストを招いて作家や作品その活動を紹介します。講座を開催します。

- 2021年**
- 11月5日[金] ゲスト:村田 真[美術ジャーナリスト]
  - 11月26日[金] ゲスト:保坂健二郎[滋賀県立美術館ディレクター]
  - 12月24日[金] ゲスト:福住 廉[美術評論家]
- 2022年**
- 1月28日[金] ゲスト:三輪健仁[東京国立近代美術館 主任研究員]
  - 2月25日[金] ゲスト:長谷川 新[インディペンデントキュレーター]
  - 3月18日[金] ゲスト:宇佐見康二[東京大学先端科学技術研究センター准教授]
  - 6月3日[金] ゲスト:山本淳夫[横尾忠則現代美術館 館長補佐兼学芸課長]
  - 6月24日[金] ゲスト:西川美穂子[東京都現代美術館 学芸員]

時間 = 19:30-21:00  
会場 = BankART Station (横浜市西区みなとみらい5-1 みなとみらい線「新高島駅」B1F)  
料金 = 全8回参加 12,000円(定員10名) 各回参加 2,000円/回(定員15名)  
お申し込み・お問い合わせ = E-mail: info@bankart1929.com TEL: 045-663-2812  
主催: BankART 1929 協力: SAGYO, Tokyo



## バンカースクール 2022年1-3月 受講生募集

BankART school 2021年1月-3月に開講の講座が決まりました。是非みなさんご参加ください。

- 1-3月期  
今福龍太「<sup>かげ</sup>原写真の翳のなかへ — 現代における〈眼〉の冒険」  
①1/19 ②1/26 ③2/2 ④2/9 ⑤2/16 ⑥2/23 ⑦3/2 ⑧3/9
- 福住 廉「アートの綴り方 vol.10」  
①2/3 ②2/10 ③2/17 ④2/24
- マンスリー講座  
北島敬三「写真の教え」  
①2/1 ②3/1 ③4/5 ④5/3 ⑤6/7 ⑥7/5 ⑦8/2 ⑧9/6
- 「ヨコハマみなとみらい物語III」  
12月～ (詳細は別刷りチラシ・HPにて)

BankART schoolの概要 | 時間 = 19:30～21:00  
会場 = BankART Station、BankART KAIKOにて  
料金 = 1講座 12,000円※福住 廉「アートの綴り方 vol.10」は6,000円 入学金3,000円(初めての方のみ) 定員16名  
[マンスリー講座] 全8回参加 12,000円(定員10名) 各回参加 2,000円/回(定員15名)  
お申し込み方法 | ①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・電話のいずれかにてお知らせください。  
お申し込み・お問い合わせ | BankART スクール事務局 school@bankart1929.com TEL 045-663-2812



### 2021年11月～2022年3月主なスケジュール

2021年11月～2022年3月

## Exhibition Event SCHEDULE

BankART KAIKO

November 2021 - March 2022

2021年11月～2022年3月

## Exhibition Event SCHEDULE

BankART Station

November 2021 - March 2022

**BankART Station**  
2021年11月17日[水]～12月5日[日]  
**遙かなる都市展**  
EXPOSITION LA VILLE AU LOIN  
時間 | 11:00～19:00 入場料 | 500円  
[主催] アンスティチュ・フランセ横浜  
[お問い合わせ] アンスティチュ・フランセ横浜  
045-201-1514 / yokohama@institutfrancais.jp

**BankART KAIKO**  
2021年11月19日[金]～11月28日[日]  
**タンカープロジェクト**  
—プロローグ:ドクメンタ15への道  
時間 | 11:00～19:00 入場料 | 700円(中学生以下及び、障がい者手帳お持ちの方と付き添い1名は無料)  
[主催] ArtTank  
[お問い合わせ] ArtTank(古平、近藤)  
contact@arttank.co.jp

**BankART KAIKO**  
2021年12月1日[水]～19日[日]  
**YPAM - 横浜国際舞台芸術ミーティング 2021**  
参加登録料: ¥5,000 各公演チケット料金等その他  
詳細はウェブサイト(yпам.jp)をご参照ください。  
[主催] YPAM2021 実行委員会(公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC - 国際舞台芸術交流センター)  
[お問い合わせ] YPAM事務局 045-264-6514 / info@ypam.jp

**BankART Station**  
2021年12月15日[水]～19日[日]  
**ARICA「ミメシス/Mimesis」**  
料金 | 一般: 前売: ¥3,500、当日: ¥4,000 YPAM  
参加者 ¥3,000、学生: 前売・当日とも ¥2,500 税込・全席自由席  
[主催] ARICA  
[お問い合わせ] カタリスト  
070-7528-7065 / mail@aricateatercompany.com

**BankART KAIKO**  
2021年12月21日[火]～23日[木]  
**Borderlands**  
料金 | 1,500円(2日間+オープニング共通券) / ワークショップ参加者+1,000円  
[主催] Responding: International Performance Art Festival and Meeting  
[お問い合わせ] 080-6535-3615 (武谷) / daisuketakeya@gmail.com

**BankART Station**  
2022年1月12日[水]～2月19日[土]  
**「ポストバブルの建築家展-かたちが語るとき-アジール・フロタタン復活プロジェクト」**  
時間 | 11:00～19:00 入場無料  
[主催] 一般社団法人日本建築設計学会  
[お問い合わせ] 090-3870-4323 / kishimoto@adan.or.jp

**BankART KAIKO**  
2022年1月8日[土]～9日[日]  
**多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻2019年度卒業生有志展示「日の目を見る」**  
時間 | 1/8[土] 11:00-19:00、1/9[日] 11:00-18:00  
入場無料  
[主催] 多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻2019年度卒業生有志団体  
[問合せ] 080-2026-0932 / hinomewomiru@gmail.com

**BankART KAIKO**  
2022年1月25日[火]～27日[木]  
**「情と/が熱 by K.NAKADA」展**  
時間 | 11:00～19:00(27日は16:00迄) 入場無料  
プロデューサー: 中田和子(草月会本部講師)  
[主催] 草月会神奈川支部  
[問合せ] sogetsu.kanagawa.kikaku@gmail.com

**BankART Station**  
2022年2月23日[水・祝]～28日[月]  
**和光大学表現学部芸術学科 卒業制作展2022「はいて すって ふくらます」**  
時間 | 11:00～19:00(最終日は15:00迄) 入場無料  
[主催] 和光大学表現学部芸術学科  
[お問い合わせ] 和光大学教学支援室  
tel:044-989-7488(代) / e-mail:artstudy@wako.ac.jp

**BankART Station**  
2022年3月4日[金]～3月6日[日]  
**多摩美術大学メディア芸術コース 卒業制作展2021『OURAI』**  
時間 | 11:00～19:00 入場無料  
[主催] 多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース 4年有志  
[お問い合わせ] 多摩美術大学メディア芸術コース研究室  
0426795634(月～土 9:00～17:00) / ida.graduation2021.team@gmail.com

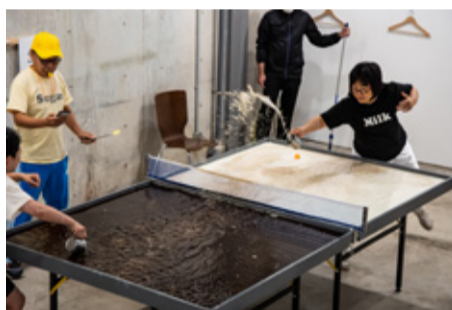
**BankART KAIKO**  
2022年3月4日[金]～27日[日]  
**「都市デザイン 横浜～愛される街をつくる50年の仕事～(仮題)」**  
時間 | 11:00～19:00 料金未定  
[主催] 横浜市都市デザイン50周年事業実行委員会、横浜市  
[お問い合わせ] 横浜市役所都市整備局企画部都市デザイン室  
045-671-2023 / tb-toshidesign@city.yokohama.jp

**BankART Station**  
2022年3月18日[金]～21日[月]  
**伊藤キム+フィジカルシアターカンパニー GERO「カラダノオト」**  
料金 | 一般前売: ¥3,000  
[企画・制作・主催] フィジカルシアターカンパニー GERO  
[お問い合わせ先] レイヨンヴェール contact@lerayonvert.net

**BankART Station**  
2022年3月27日[日]～29日[火]  
**SPACE FACTORY 2022 リトライ企画シリーズ『夢の浮橋』～源氏物語より～「第1章 苦悩の春」**  
料金 | 一般4,000円(前売り3,800円)、学生2,000円、横浜市民3,000円  
[主催] SPACE FACTORY  
[お問い合わせ] SPACE FACTORY 044-911-6573 / spacefactory.live@gmail.com

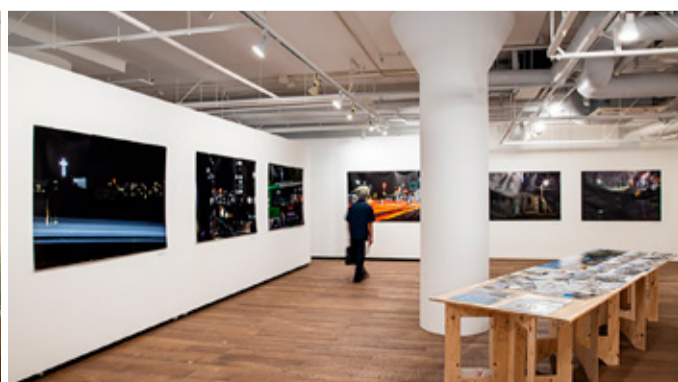
## Creative walkway 食と現代美術 vol.8 アートと食と街を 開催しました! 2021.10/1 - 10/19 @ BankART KAIKO + BankART Station

食と現代美術はBankART1929がスタートしてから、これまで7回開催してきた。ギャラリー内だけで開催したもの、街中のお店等と連携したもの、ギャラリー空間を本物のレストランのように仕上げ料理を振る舞ったもの等々、様々な方法で「食」と「美術」にアプローチしてきた。チラシにも記したが、今回の食と現代美術は、北仲地区、新高島地区に新しく誕生する食文化(街)と連携する計画を立て、具体的に店舗と打ち合わせも行っていたが、継続された非常事態宣言は、そういった試みは許してくれなかった。残念ながら、BankART KAIKOとBankART Station 二館だけの催しになった。とはいえ、参加作家は皆、工夫を重ね、興味深い作品を提案してくれた。(ブログより)



## 続・朝鮮通信使 韓国 AIR 報告展開催 9/10 - 9/26 @ BankART KAIKO

2010年ごろから継続的におこなってきた「続・朝鮮通信使」。2017年からは、それまでのツアー中心の活動を展開して、交換AIRのプログラムを開始。5名の韓国人作家を横浜に受け入れ、5名の日本人作家を韓国各都市に送り出した。本来、終了した段階で、報告展を行う計画であったが、日韓関係の外交悪化(文政権)、BankART Studio NYKの解体、コロナ問題などで、活動が途絶えてしまった。今回の発表は、遅ればせながらの再スタートだ。5名の作家の、当時滞在先で制作した写真、映像作品、また交流の記録を展示している。来年度からは再び、続・朝鮮通信使のプログラムを積極的に行っていきたいと願っている。(ブログより)



## ご存知ですか!

### キング軸

みなとみらい線地下1Fに位置するBankART Stationの真上(1Fレベル)にあがると、海側にはソニーのガラス張りの大きな建物とその低層階の飲食ゾーン(一部オープン)と素敵な緑地帯が続く。反対側(旧市街地側)にでると、資生堂とみかんぐみ設計の本町小学校別館と鹿島建設が推進する飲食店(未完成)からなる低層棟とプラネタリウムが続く。

この軸線は初期のみなとみらい21の計画地図に示されている横浜駅および新高島駅周辺のビジネスゾーンと海側を結ぶ動線『キング軸』のコア部分を形成するゾーンだ。長い期間開発が遅れ、ほぼ原っぱ状態が続いていたゾーンであるが、この5~6年ぐらゐの間に、瞬間に開発が進んだ。

そして遂に本日11月1日、『キング軸』が開通した。まだまだ飲食店舗もプラネタリウムも全てがオープンしている状況ではないので、賑わっているとはいえないが、みなとみらい地区と旧市街地を本格的につなぐ重要なパイパスだ。これまでも、みなとみらい地区と旧市街地の連結は、日産本社を貫通する道路や、最近のロープウェイ開通で試みられてきたが、今回の横断は、より明確に強調された形での新旧連結である。

みなとみらい地区から高速道路をつき、いきついた先はいわゆる「裏横浜」と呼ばれている趣のある飲み屋が散在する旧市街地だ。そしてこの先をもう少しと横浜駅だ。計画では、デッキでダイレクトに横浜駅と連結する予定だ。きっと裏横浜と呼ばれているゾーンが反転し、表横浜になる日もそう遠くはないだろう。(ブログより)



### 編集後記

○今年度の後期事業、もう一本ぐらゐは主催の展示会を組む予定だったが、予想をこえてオファーが多く、ほぼ埋まってしまった。そのほとんどがこれ迄に縁のある優秀な人たちの事業なので断る訳にはいかない。中でも、横浜市都市整備局の都市デザインの50周年イベントは、私たちの活動の「親」の事業なので積極的に手伝っている。彼らがいなければ、BankARTのような「創造都市構想事業」は生まれてこなかったのだから。

○ガリバー(安土修三)のレクチャーシリーズが始まった。このゼミがマンスリーになったからというわけでもないが、二ヶ月単位でこれまで行ってきたスクールが変形して、年間通じて行うゼミが増えた。北島敬三(写真)、みなとみらい物語 vol.3に続き、倉石信乃(写真、明治大学)、小泉明朗(映像)等が来期はじまる。